



究極の強運

人生を変える

よしだ ゆうけい
吉田 紬恵

吉田 紬恵 人間理学

致知出版社

人生を変える 究極の強運

吉田勉恵人間理学研究所所長
よしだ ゆうけい
吉田 勉恵

致知出版社

著者略歴

吉田 昶恵 (よしだ・ゆうけい)

昭和 26 年 1 月 茨城県常陸大宮市出身。16 歳の時、「人の運命の何たるかを解明して、多くの苦しむ人を助ける事の出来る人間になろう」と決意。高校卒業後、波瀾万丈の人生を経ながら「人間の生き方・運命」について独学。40 歳代で「心理カウンセラー」「運命カウンセラー」「自然療法」等の各種資格を取得。平成 9 年「吉田カウンセリングルーム」開設。16 歳の決意を 30 年かけて 46 歳で実現させた。平成 14 年には更なる飛躍をめざし、「吉田昶恵人間理学研究所」と改称。独自に築いた「人間が幸せになるための哲学」を、生き方・運命改善の個人指導、各種講演講師、執筆を通して実践。生き方カウンセラー、エッセイスト、超古代史研究家等として、現在に至る。

認定資格 心理カウンセラー (日本カウンセラー協会認定) ほか

著 書 『ほんとうのあなたを生きるために』 (たま出版) ほか

吉田昶恵人間理学研究所 (よしだゆうけいにんげんりがくけんきゅうじょ)

〒305-0044 茨城県つくば市並木 3-22-22

TEL. 029-858-5966

FAX. 029-858-5106

生き方のカウンセリング室

<http://yoshida-yuukei.jp/>

吉田昶恵人間理学の研究と実践室

<http://yoshida-yuukei.com>

人生を変える究極の強運

平成二十二年八月三十日第一刷発行

著 者 吉田 昶恵

発行者 藤尾 秀昭

発行所 致知出版社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前四の二十四の九

TEL (〇三) 三七九六―二二二

印刷 (株) デイグ 製本 難波製本

落丁・乱丁はお取替え致します。

(検印廃止)

© Yuukei Yoshida 2010 Printed in Japan

ISBN978-4-88474-894-4 C0093

ホームページ <http://www.chichi.co.jp>

Eメール books@chichi.co.jp

はじめに

これまで13年半の間、私は「生き方カウンセラー」として、多くの相談者のさまざまな人生と関わり合ってきました。そのほとんどは、目の前に突き付けられた難問をどう解決させるかでしたし、問題が解決してしまえば、それで終わりの関係でした。

しかしその中にはわずかではありますが、問題解決のみならず、「生き方」そのものを探し求める方々もおり、私はその若者たちを「会員」として、共に「生き方」の学びを続けてきました。

平成16年9月からは「吉田勲恵人間理学研究所通信」なる機関紙を発行し始め、毎号毎号を会員たちと共に全力投球で編集し、発信してまいりました。

しかし思うところがあり、平成21年12月をもって休刊といたしました。これら書き続けてきた原稿を、「さあ、どう生かしたらよいものやら」と思案をし始めますと途端に、私にとっては夢の世界そのものでありました致知出版社様から、出版をいただける運びとなりました。

この話は、本当にあれよあれよという間の展開でして、タイトル通りの、まさに「究極の強運」の発動そのものです。こうしてまた一つ、新たな実証例を得る事ができました。

詳細は本文に譲りますが、16歳の時、「人の運命の何たるかを解明して、苦しむ人を助ける事のできる私になろう」と決意して30年、ついに46歳の時「カウンセリングルーム」を開設できました。その後「吉田勉恵人間理學研究所」と改称して、さらなる道を歩み始めました。人間が幸せに生きるための道を追求提唱することを掲げ、「研究所」として旗揚げをしたわけであります。

その道の追求をし続けていましたら、結局、人間はなぜ、どのようにして存在するようになったのか？ というところに行き着いてしまったのでした。それを解明できずして、どう生きれば良いのかの答えは得られないのです。そして、解明に必要なのは、真の人類史以外の何物でもない事に確信を持つに到ったのであります。

私にとってその解決の道は、「神様、真の人類の歴史をお教え下さい」という、長い祈りの日々でありましたし、これからも続く道のりであります。

そうして神様に導かれて辿り着いてしまった先が、実は、「記紀」以前に壮大な歴史が実在したという「超古代史」の世界であり、「忠孝敬神崇祖」という、生き方の根源を追究する道そのものでありました。そしてその道こそが、本書のテーマであります「究極の強運」を掌中にする道でもあったのです。

それは、この国の人々がとうの昔に捨て去った、遺物そのものの道ではあるのですが、では、現代人の姿はどうでしょうか？ 一般大衆の浅ましい姿のみであるならば諦めも我慢もできません。が、しかし、世を指導する立場に立つ方々や、現状を憂えて世直しを訴える方々までが、他の批判はしても、自分自身を省みて「人としての生き方」を求める事になど、興味すら示さない現実に愕然とするのです。

日教組の「日本人ケダモノ化教育」の成果はあまりに見事であり、今や、いわゆる「保守派」の学者論客までが、日教組教育に染められつつあるようで、驚くばかりの醜態をさらし始めております。

が、そうは言っても、当所の力など無にも等しいものであります。しかし、このたびの出版実現の道筋に、ただならぬ神の大きな後押しを確信した私は、勇気を振り絞っ

て、全力を注いでこの原稿をまとめ上げる作業をいたしました。

拙い書ではありますが、一人でも多くの人の魂に響いて下さる事を、ひたすら念じております。そして、この国「日本」が、本来の輝かしい姿を取り戻せるように、多くの人々と心を合わせていける日が来る事を、ただただ繰り返し神に祈り続けます。

吉田 舂 恵

人生を変える究極の強運

目次

はじめに

1

第一部 人間の運命について

13

考えるための価値基準を

14

／「吉田鮎恵人間理學」誕生の道筋

15

ゆうけいのハチャメチャ経歴

17

生い立ちと、16歳の決意

17

／波瀾万丈な半生の始まり

18

／運命の転換

21

／新生のため、拠点をつくばに移す

24

／16歳の志が実り、カウンセリングル

ム開設

27

／位の高い、強い強い女神様がついていて下さる！

29

／課題は「陰

徳」を積む事

31

／神様のお試し(?)をすべて乗り越えられて

33

／当研究所の

新築 35 / 神様に信じられる人でありたい 39

運命の法則基礎編

— 運命のしくみ — 42

自分まで悪くなる必要はありません 42 / 宿命と運命は違うもの 46 / まず、自分が変わる事!! 49 / 運命のしくみ 52 / 人間は何のために生きるのか? 58 / 自分の気質を知る事 60 / 「矛盾が不運の元」は運命学の鉄則 62 / 自分の持つ潜在能力や個性を引き出すには 65 / 助産師になってしまったY子さん 66

運命の法則中級編

— マイナス要因を取り除く — 69

マイナス要因を取り除く事 69 / 「魔坂の坂」を転げ落とされないために 70 / まず浄化(膿み出し)が肝腎 73 / 『因果経』 75 / 荒行の法華行者に救われて 77

運命の法則上級編 1

——積徳の道——

102

／悪因縁・悪業の恐ろしさの実例 78／奪い取らない生き方、借りを作らない生き方
96／不運にならないために特に強調したい事 98／私はここまで徹していますが
.....
100

陽徳と陰徳 102／臨界点に達するまで待つ事 104／マンション偽装事件に学ぶべき
智恵の重要性 107／物事の本質をスバリつかむ事 109／「生かせば生かされる」と
いうのが運命の法則 112／「ありがとう、ごめんなさい」は、人間関係の重大事 113
／良い仲間を、でも「親しき仲にも礼儀あり」をわきまえて 115／贈り物に真心やセ
ンスを込めて！ 118／人様をタダ使いするものではありません 123／自分の立ち位
置を読み取り、機転を利かす事 127／先手を打って無用な災いを回避する機転 129
／恩になったら恩に報いるという事 137／「宗像三女神様」の御神恩 138／相談者
を救っていただいた根津神社へお礼参り 140／大好きな玲子先生を訪ねて松山へ

144 / 礼を尽くしきつてお別れする事 — 146 / 私の出会った偉大なる徳人 — 151

運命の法則上級編 2

— 覚悟 —

158

実現をイメージし続けた紅い着物 — 158 / 真の成功者とは、人のできない事をやり
とげた人 — 159

運命の法則応用編

— 明るく、愉快に、雅に —

164

エッセイ「恋文」箱根芦ノ湖・成川美術館へ — 164 / ドジだつて、補ってもらえて
しまう体験の数々 — 178 / 勝手にハンドルを取ったの誰? — 182 / こんな面でも神
様が? 驚きのお子たち — 184

人類史の真実について

189

究極運の核心

——人類史の真実を伝える超古代史——

190

真実の人類史を求めて、祈り続けた日々……190／根深い自虐史観『ダーウィンの進化論』と神の実在……193／「竹内文献」を主に捉えた超古代史とは……196／宇宙の誕生と生成……198／地球・人類の始まり……201／偽書扱いのままの超古代史……214／顕かにされつつある人類史の真実……216

超古代史に学ぶべき事は何か

224

人類根本問題解決の重大な鍵……224／「すめらみこと道」が、究極運の核心……226／天皇の御意志に基づかない皇位継承は、天皇の御位を汚すもの……228／勇気をいた

だいた「超古代史講座」への感想―― 229

御神縁深き神々と、日々の敬神生活 231

産土神（うぶすながみ）様とは―― 231／神様へ誠の祈り方について―― 233／磐座（いわ

くら）の神様御降臨の事―― 234

救国のリーダーに捧げる運命論 244

現代人分類――靈魂の實在を信じる者と、靈魂否定の唯物主義者―― 244／救国事業を為

しとげるための絶対的条件―― 246／リーダーの指導力「摂受と折伏」―― 248／現実認識を

して、世を処していく事の重要性―― 250／難しいらしい、清廉潔白であるという基本―― 255

あとがき 258

装幀 ————— 村橋 雅之

カバー写真 ————— 藤森久美子

本文デザイン ————— 奈良 有望

編集協力 ————— 高関 進

第
1
部

人間の運命について

考えるための価値基準を

今、現代文明はあらゆる分野で完全に行き詰まり、人類は大きな変革の時を迎えているようです。この変換期にあつては、価値観を根本から構築し直す必要があります。ですが、「欲望の限りなき追求」という旧い時代の習性からの脱皮を図れず、相変わらず、今までの一般常識にしがみ付いている方の何と多い事でしょう！

しかし、その一般常識とやらは、いったい何ものなのでしょう。観察していると、私などより遥かに多くのものを持っていながら、くすんでいる人だらけ……、そんな気がいたします。

不運どころか、悪運としか言いようのないおぞましい運命に、押し潰される人が増殖するばかりの現代日本でもあります。

とにかくあらゆる価値観を再検討し、まったく新しい観点から、人類の文明を築き直すべき時に来ているのは、間違いない事のようにです。そのためにはまず何よりも、人類共通の「考えるための価値基準」が必要でしょう。